

平成 29 年度「ラウンドテーブル」について

1. 平成 29 年度「ラウンドテーブル」テーマ

企業財団による活動の現状と今後の展開

2. 趣旨及び視点

現在、全国で約 9,500 もの公益法人が活動しているが、企業が継続的に社会貢献活動を行うことを目的として設立した公益法人（以下、「企業財団」と呼ぶ。）は、法人数やその事業規模等から、公益法人の中でも一定の地位を占めている。

企業財団は、母体企業から人的あるいは財政的な支援を受けることにより大規模に活動することができる一方、母体企業の動向によって法人の活動が左右されることもある。

平成 29 年度「ラウンドテーブル」では、企業財団関係者の参加を得て、企業財団の活動が引き続き活発に行われるよう企業財団の運営上の課題について議論すると共に、企業財団の意義についての共有を図る。

<視点例>

(1) 法人の事業

- 法人設立の趣旨
- 法人の活動分野・事業について

(2) 法人と母体企業との関係

- 法人の活動分野と母体企業との関係
- 法人の事業実施に当たっての、人的・財政的資源の確保策
- 資源確保における、母体企業に対する依存の程度とそのメリットあるいはデメリット
- 法人の事業展開等における、母体企業があることによる制約の有無

(3) その他

- 企業が社会貢献活動を行う意義（及びその場合に公益法人を設立する意義）